

事業報告書

1 支援団体名	江北町防災士会	
2 事業名称	江北町地域防災力向上事業	
3 実施日時	令和4年10月30日	
4 実施場所	佐賀県江北町「みんなの公園」	
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>住民の防災力向上を図る事を目的に、誰もが気軽に防災に触れられるイベントを目指し、マルシェや音楽イベントに防災ワークショップを取り入れた。「江北町の防災の話」では、貯水池として活用している主な溜池や幹線水路の紹介、町と水路管理者が連携して行う内水氾濫を防ぐための事前落水の紹介、災害時の情報収集方法、避難の考え方等を確認した。「災害時のトイレの話」では、東日本大震災、阪神淡路大震災の際の避難所トイレの様子を紹介し、防災用処理袋やポータブルトイレの大切さを実物に実際に触れながら必要性を確認した。「ソロキャンプ×防災」では、キャンプで役に立つ道具は防災でも役に立つ事を確認した。キャンプすることと避難行動を取ることは共通点が多い事を共有した。同時進行した「マルシェ」や「音楽イベント」は、防災に興味がない方も気軽に参加するきっかけとなり、気軽に防災ブースに立ち寄る方も見られた。</p>	
	<p>(事業実施効果)</p> <p>イベント自体には約400人の参加があり、防災ブースには40名の予約者の他、約400名の方が見学をされていた。平時に防災を考えるきっかけを作る事を目的として計画したイベントだが、たくさんの方が防災に触れてくれたと感じている。防災だけのイベントと思われぬよう、来場者が楽しめる工夫をこれからも取り入れながら来年も行いたい。</p>	
6 参加内訳	総人数	400名
	(1) 主催者参加	15名
	(2) 日本人参加 ((1)を除く)	380名
	(3) 外国人参加 ((1)を除く)	5名
7 今後の方針	<p>マルシェや音楽イベントに防災の要素を取り入れたイベントは、毎年恒例にしていきたい。</p> <p>避難行動と共通点の多いソロキャンプは、単体のイベントを考えたい。</p> <p>実際にキャンプを行いながら、防災グッズに触れる取り組みを行いたい。</p>	

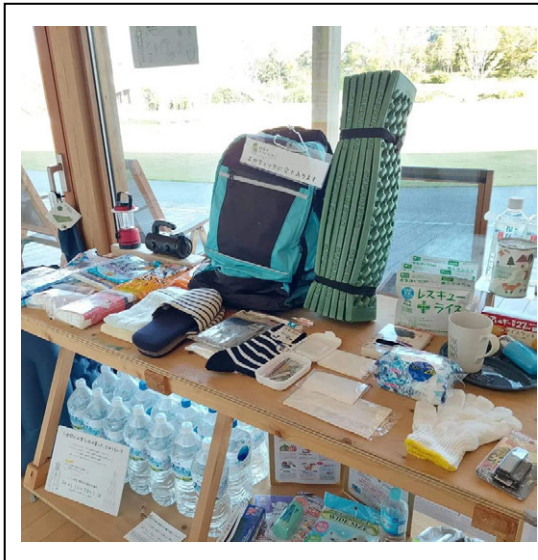
(災害用トイレ実演)



(参加者座り心地確認状況)



(ソロキャンプ×防災)



(災害用トイレ実演)



(参加者座り心地確認状況)



(ソロキャンプ×防災)

